

いっしょに 富士のペットたち

「ズーノーシス」という言葉を存じてでしょうか。人と動物に共通する感染症のことを指します。以前は人畜共通感染症とか人獣共通感染症と呼ばれていました。鳥インフルエンザもズーノーシスですが、「人畜」「人獣」という名称では、鳥類は無関係のような印象を与えるため、ズーノーシスと呼ぶようになったのです。

ズーノーシスで真っ先に挙げられるのは狂犬病ですが、現在、日本で発生は見られません。今回はもっと身近なズーノーシスを紹介しましょう。



となみペットクリニック院長
(砺波市高道)

前田 洋行

ズーノーシス

健康そうなペットを連れて飼い主さんが「病院の皮膚科で『原因はお家で飼っている犬(猫)です』と言われた」と来院されることが時々あります。飼い主さんの病気が皮膚糸状菌症。糸状菌はカビの仲間、水虫などがある菌です。犬や猫の体表を好む糸状菌が、人にも感染してしまつたのです。脱毛や皮膚が赤くなるなどの症状が出ます。

犯人とされたペットは、皮膚病になっていることもあれば、菌がいても発症していないこと



くしでとかれて気持ちよさそうな猫。普段からペットの体調の変化に注意することがズーノーシスの予防につながる

手洗い・傷消毒で予防

もありません。また、全くのぬれぎぬの場合もあります。動物病院では、菌が確認されればペットの治療に当たります。予防法は、とにかく清潔にすることで。日ごろからシャンプーやブラッシングを行ってください。

虫移行症といえます。卵は腸で孵化して幼虫となり、体内を移動して肝臓や肺、眼球などに障害を引き起こすことがあります。定期的なペットの検便や駆虫をし、動物に触ったら必ず手を洗うことなどで予防できます。

と感染し、腫れや痛みが出ます。傷が深いと骨髄炎を起こしたり、呼吸器病になったりすることもあります。

トを飼うと恐ろしいことになると思われた方がいるかもしれません。しかし、常識的な範囲で動物と付き合っていれば何も恐れることはありません。口移しで食べ物を与える、あまり清潔とはいえない環境で飼っている、動物に触った手を洗わずに食事や日常生活をしている。そんなことはしていませんよ。

パストレルラ症は、パストレルラという細菌によって起こる病気です。菌は犬や猫の口の中に普通に存在します。飼い主さんがかまれたり引っかけたりする

見につながるでしょう。次回は10月7日に掲載します。

飼い主さんが体調不良で病院へ行かれる場合、家でペットを飼っていることをお医者さんに伝えるのも、ズーノーシスの早期発見につながります。

パストレルラ症も猫引っかけ症も、猫や犬にかまれたり引っかけられたりすると必ず感染してしまつというわけではありませんが、免疫力があり健康であれば、あまり心配はいりません。ただ、免疫力が弱い小さな子どもさんやお年寄りには、過度に動物に接触しないように注意が必要で、動物に触ったら手を洗う、傷を負ったら消毒するといった当たり前のことは必ず守りましょう。猫引っかけ症はノミが媒介しますので、ノミの予防・駆除が大切です。

ここまで話を読んで、ペット